みつくら

令和　８年１１月１５日　　第４７０号
発行　　大瀬川活性化会議
編集　　「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川１０－４５－２
大瀬川振興センター　電話４５－６４７２

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

今年も銀杏をライトアップ中

恒例となっている大瀬川運動公園のシンボルツリー、銀杏のライトアップを１０月３０日から行っている。隣のメタセコイヤやヒマラヤスギや楓も綺麗に紅葉している。

今年は、県道１３号線からのライトアップの器具の配線方法を変更。去年までは空中を配線していたが、なぜか終わり頃になると車に引っかって断線したのでガードパイプに線を添えた配線に変更している。ライトはLED照明の１０００Ｗ型を５台使用し、県道側は４５度を照らすスポット型を使用している。点灯時間は、午後４時３０分から９時３０分までで１１月中を予定している。ライトアップは、８年目となり落葉してからも木々の枝が白く浮き上がり幻想的で楽しめる。ところで、一昨年は枝がしなるほど実った「ぎんなん」だったが去年は例年並みで、今年はどうしたわけか極端に少ない。高温と降水の偏りが銀杏の花芽形成に影響するらしいので開花の時期に花粉が飛んで来なかったのかもしれない。

花巻市民芸術祭石鳥谷会場に大瀬川から出展

花巻市民芸術祭石鳥谷会場は、１０月１７日から１９日までの３日間石鳥谷生涯学習会館で開かれた。大瀬川からは手芸部門に「一糸（ひといと）」に所属する熊谷満子さん（吉沢家）が機織りで製作した「手提げバック」が出展された。書道部門に熊谷静香さんの「陳天麟詩」、福祉施設イーハトーブぬくもりからは菅原文子さん、板垣弘子さん、板垣三保子さんの塗り絵が目に付いた。他にも多く出展されていたが、氏名の表示がないので大瀬川の方かどうかは分からなかった。児童生徒では図画の部に石鳥谷小学校５年生の菅原万夢さん（野中家）、熊谷心々さん（田屋家）、同じく書写の部に石鳥谷小学校５年生の熊谷水希さん（牛蒡家）、６年生の熊谷陽麻梨さん（万の助分家）の作品が出展されていた。

葛丸歌碑を清掃

賢治葛丸祭を前にして１０月１１日の早朝６時３０分から１時間、石鳥谷賢治の会役員である能登谷芳孝さん、渡辺良治さん、熊谷るり子さん、菅原富男さん、板垣公さん、菅原得之さんの６名が葛丸歌碑の清掃を行った。この賢治歌碑の清掃は、碑を建立した翌年の平成７年から毎年行っているもので、そのいきさつは、歌碑建立委員長であった板垣寛さんが建立について宮沢清六さんに承諾のお願いに訪ねた折に「各地に歌碑が建っているが、建てた後は草茫々の所が多いのでそれでは困る」と語られたのに対し「その様なことは絶対に致しません」と約束してから毎年行っているもの。こうしたことから板垣寛さんは「何もイベントが無いと、石碑の清掃も続かないのではないか」との思いも込めて「賢治葛丸祭」を企画し、現在もその想いを大切にして清掃を続けている。

勇壮な鹿踊りを披露した「賢治葛丸祭」

石鳥谷賢治の会（松村稔会長、会員３８名）主催の第３１回賢治葛丸祭は、１０月１２日に大瀬川構造改善センターで４６名が参加して行われた。開会に先立って、現在の賢治歌碑周辺の様子を板垣公さんが撮影したビデオを上映して、少しでも現地の雰囲気が伝わるように工夫されていた。

午後１時３０分から始まった賢治葛丸祭は、能登谷芳孝副会長の開会に続いて松村会長は「本日は、何かとお忙しい処当会の３大事業の一つであります賢治葛丸祭においで戴きましてありがとうございます。賢治葛丸祭は、数年前までは葛丸歌碑前の現地で行っておりましたが、トイレが無くなったことによりこの大瀬川構造改善センターで開いております。当会といたしましては宮沢賢治顕彰の一環としてこれからも続けて参りたいと考えております」との主催者挨拶であった。来賓は小原勝花巻市長（代理大竹静治賢治まちづくり課長）、佐々木順一県議会議員、熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長の３名で、そろぞれ祝辞をいただいた。

演目の最初は春日流八幡鹿踊り保存会１０名による鹿踊りで、唄い手と鉦打ちの他は８頭の鹿踊りであった。賢治葛丸祭は３１回を数えるが、全部の写真を見直したところ、今回の８頭は最も多い頭数で、続いて７頭が２回あった。鹿踊り８頭は「八ツ鹿踊り」といわれる基本の頭数だというので、全頭の鹿が揃ったことになる。しかもその内４頭が雌鹿で、新しく保存会に加入した若い女性達もいたとのこと。大瀬川では初めて８頭の鹿が踊る太鼓のとてつもない大きな音が鳴り響いた。

続いて石鳥谷吟詠会の瀬川文秀さん、佐々木洋介さん、宮美枝子さん、阿部博光さんの４名による賢治に関わる吟詠の披露であった。

「賢治さんへの手紙」では八幡小学校６年生の菅原桜子さん（代読菅原富男さん）、新堀小学校５年生の佐々木萌夏さん（代読高橋敦子さん）、花北青雲高校１年生の高橋ひかりさん（代読鎌田幸也さん）であった。

演目の４番目は「宮沢賢治の歌」で菊池優子さん、玉山得子さん、佐久間祥子さん、工藤瑞穂さんの４人による６曲の楽器演奏や葛丸讃歌を披露した。最後に参加者全員で精神歌を斉唱し、小原千秋宮沢賢治東和の会長の所感で幕を閉じた。

電気柵設置完成祝賀会を開催

１０月２５日に恒久電気柵の完成祝賀会が第九区自治公民館で２４名が参加して開催された。主催の葛丸川沿い電気柵設置実行委員会の熊谷俊彦代表より、「令和５年１０月に地域の方がクマに襲われた事件をきっかけとして、個人の電気柵では地域の安全安心を守るのは難しいと思い、花巻市や岩手県農林水産部等の指導を仰いだ。県との協議により恒久電気柵（岩手県オリジナル）を導入することとし、令和７年から地域の協力をいただきながら、県の電気柵設置講習会による電気柵設置などにより富沢橋と大瀬川橋を結ぶ総延長９００mを２年間を掛けて完成しました。最初は夢物語と思っていたが、皆さまのご協力により実現できました。ご尽力頂いた方々に深く感謝と御礼を申し上げます」と挨拶があった。

来賓としてご指導を頂いた県の中森忠義さんからも「地理的に県の中央なので講習会では県内から多くの方の参加がありました。また、県内で恒久電気柵を一関では５キロメートル設置や岩手町のキャベツ畑５０ｈａの設置もしましたが、この大瀬川では若い人たちが設置から保守を行なっており大変頼もしく思います」と挨拶があった。

その後、前美土里の会代表の高橋義晃さんの乾杯で祝宴に入り、設置や管理の苦労話が弾んでいた。また、これからの維持管理を行う若者達で結成した「電柵ネットワーク」の紹介もされた。後日メンバーのひとり高橋庄一さんは「電気柵は動物を傷つけるのではなく、ショックを与えて『ここは危険な場所だ』と学習させるものだと知りました。人間と動物がそれぞれの境界線を守るために、電気柵は現代の農業に欠かせない知恵なのだと実感しています」と語っていた。

この恒久電気柵設置で設置部分の被害は無くなったが、葛丸川沿いの上流からのイノシシの徘徊があるため大瀬川地区一帯で野生動物の被害防止が必要と思われる。

男子バレーチーム１０連覇達成！

１０月２５日石鳥谷体育館にて、第５３回石鳥谷９人制バレーボール大会が開催された。選手宣誓を藤原 誠さんが声高々に堂々と努めた。

男子の参加チームは４チーム。初戦は八重畑チームと２－０、決勝は好地チームと２－０で接戦を勝ち抜き優勝した。

１０月２日から毎週金曜日に老若男女問わず皆で頑張って練習を重ねた結果が実った。

監督は大瀬川体育協会会長の板垣雄一さんで、ヤプテンを板垣暁幸が努めた。閉会式では、中村浩之会長から「来年は大瀬川チームの優勝を阻止するように頑張ってください」と激励の挨拶があった。

出場選手は以下の通り。（敬称略）

板垣暁幸・板垣春介・板垣圭介・板垣拓海・板垣伸吾
菅原崇将・板垣幸規・菅原　茂・藤原　誠・柳原紘樹

皆さんご苦労様でした。

みつくら

令和　８年１１月１５日　　第４７０号
発行　　大瀬川活性化会議
編集　　「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川１０－４５－２
大瀬川振興センター　電話４５－６４７２

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

未来に向けて第８回ブルリ祭を開催

１０月２５日に生活介護施設・ブルリの杜（熊谷和彦施設長）では「第８回ブルリ祭」を大瀬川振興センターとブルリの杜で開催した。開会にあたり熊谷和彦施設長は「県内には100名以上の自閉症の方々がおります。当施設は関係者の長年の願いで開所した施設で皆様のご協力で８年を迎えることが出来ました。今日は日頃のお子様方の様子や活動をご覧ください」と挨拶された。

第一部は、「みんなで楽しもう！ブルリの杜の音楽会」と題して大瀬川振興センターで７０名が参加して合奏や生演奏で歌った。最初にベートーベンの「歓喜の歌」に挑戦し、キーボード、ピアニカ、リコーダ、サンドブロック、カホン、ドラム、マラカスなどで合奏した。続いて、「生演奏みんなで歌おう！」では利用者さんのお母さん二人の電子ピアノとキーボードで「WAになっておどろう」や魔女の宅急便の「やさしさに包まれたなら」など４曲を歌いながら演奏した。楽器を持って演奏が始まると利用者さんの顔が生き生きする様子がはっきりと分かった。

第二部は会場をブルリの杜に移して、職員の紹介からはじまり、利用者の紹介と保護者も紹介され参加者がみんな知り合いになり、家族からはブルリに来ることを楽しみにしていると話していた。。

昼食の時間にはブルリの調理師さんが心を込めて作った【おにぎり弁当、ハンバーグ弁当、焼きそば弁当、総菜パン】の中から１個を選んで各々テーブルを囲んで頂いた。また、施設内の開放も行われ、利用者の個性が生かされたブースに家族や来場者の方々は感心しながら見学していた。

今年も菓子工房アストラさんの出前出店があり、ケーキや串団子や粒あん大福も人気だった。

農家組合研修会と収穫感謝祭が行われる

１０月２５日に第７区公民館で２６名が参加して第７区農家組合研修会が行われた。菅原達也組合長の挨拶の後、熊谷叔加花巻農協石鳥谷支店長の挨拶があり、「１０月２０日時点で米の８６％がカントリーエレベーターへ入庫しており、今年は雨が続いて稲の刈り取りが遅れているが、その内の一等米は９６．３%となってます。また、リンゴなども今年は品質が良く大玉になっています。農協では、来世に繋ぐ環境を作りたいのでご協力をお願いしたい」とのことだった。

また、菅原教雄山王海土地改良区理事からは「土地改良区の番水は長期の渇水は無く予定より早く切り上げることができました。また、基盤整備では現在３社の測量業者が入っており年内中に終了予定です」とのことだった。

続いて、研修会に入り、（有）丸石産業の菅原昇氏から「ゴミの分別と収集」についての講演があり、熱心に耳を傾け、中にはメモをたくさんとっている方もいた。毎年３月に花巻市から全戸配布されるゴミ収集ポスターだけではわかりづらいこともこの研修で情報を得て学ぶことができた。

この後は、農協職員を含めて高橋秀信共済課監理役の乾杯で収穫感謝祭が始まり、今年は高一商店の大鍋に並々と入った芋の子汁も振る舞われ、お替わりする人も現れて楽しい一時を過ごした。

板垣さんが一の滝降り口に梯子を架ける

板垣弘清さんが所属する「フォトクラブSUN」（盛岡市）の６名で写真撮影会が１０月２６日に一の滝で行われた。これに先立ち、２日前の１０月２４日に板垣弘清さんは一人で一の滝の滝つぼまで降りられる様に梯子を架けたりして道を造り、誰もが降りられる様になっている。

かつて大瀬川振興センターで開かれた市政懇談会の席上で「折角の景勝地である一の滝は、大雨で護岸が削られたために滝つぼに行けなくなったので、花巻市で整備して欲しい」と要望したところ、当局から「一級河川であり県の許可が必要」であることや「河川敷の一部が私有地」であることから難しいとの返答で現在も一の滝まで降りて行けない状態が続いていた。板垣さんは、こうした状況のなかで、崩落した通路に梯子をかけたり、通路の岩を砕いたり、また大岩周辺の雑木を除去したりして、一の滝の景観をよりよくして下さった。ちなみに、この一の滝は、平成６年岩手日報社発行の「岩手の滝２０選」に選ばれていると共に、カメラフィルターの国際的メーカーである「カニ」の撮影場所にも指定されている名所でもあるという。

映画会を開催ー福祉のつどいー

１０月３１日に大瀬川活性化会議地域福祉推進委員会主催の「福祉のつどい」で、石鳥谷図書館の視聴覚教材から『人生、いろどり』のＤＶＤを借りて映画会を開催し３０名が鑑賞した。

菅原房子福祉推進委員会長から、「徳島県上勝町という山あいの活気をなくした町でひとりの農協職員が、山にいっぱいある葉っぱを料理の“つまもの”として売ることを思い立ち、７０代、８０代の女性たちの活躍と友情を描いた感動の実話の物語です」とあらすじの説明があり、舞台の奥に大画面で上映した。上映後菅原さんから「この映画は２０１２年に上映され、現在はこの中の農協職員の方は亡くなられましたが、年商３億円で一人で月２００万円を売り上げる方もいるそうです。皆さんもいきがいを見つけて元気で頑張って頂ければと思います」と話された。来場者はしみじみしたり、「こったにもうがるなら、俺もやってみるが!!」など、笑いと拍手の楽しい映画会となった。

基盤整備事業の外周測量始まる

現在、大瀬川地区内で基盤整備事業の一環として、事業区域を確定させる目的で測量が行われている。これは、岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室が発注したもので、換地（工事完了後の土地）計画原案作成に必要な詳細な設計図面を作成するため、ほ場整備地区の事業予定区域界に公図（法務局に備え付けられている土地ごとの位置・形状・地番・隣接関係などを示す図面）の境界線を復元し、事業区域となる土地と事業区域外となる土地の境界を確認するための作業で３社の測量会社が雪が降るまでに終了予定で進めている。

境界抗脇に立てている見出し棒は、農作業等で支障の際は抜いても構わないとのこと。また、上部が赤いプラスチックの杭についても、ほ場の水張区域内や畦畔に打設されて農作業の支障になる場合は、深く埋め込むか若しくは抜いても構わないとのこと。

昨年１１月に山王海土地改良区に「大瀬川地区換地評価委員会」が設置され、大瀬川地区より１８名の換地評価委員が選任され、今後の換地計画について協議している。換地設計基準は来年度までに策定し、令和１１年度を目途として換地計画原案を作成して、農地の集約と集積を農地所有者と何度も検討し、実施設計基準が完成してから基盤整備事業の工事に入る予定となっている。

また、１１月５日には山王海土地改良区と換地評価委員会のメンバーが大瀬川地区内の事業区域で公図と現況が違ったり、土地の種目が変更されている主だった場所を図面を見ながら現場で確認して、これからの換地作業をスムーズにするための説明を受けている。

なお、換地評価委員は次の方々です。（敬称略）

７区　菅原敏幸、畠山一男、辻村康幸、菅原清昇
　　菅原康之、菅原達也、
８区　熊谷秀夫、板垣正博、菅原弘雄、熊谷和紀
　　板垣博文、菅原浩孝、
９区　熊谷記彦、熊谷俊彦、藤原光宏、熊谷純一
　　熊谷武忠、高橋庄一

人事

花巻農協監事　板垣博文　令和８年５月～
石鳥谷広域カントリーエレベーター利用組合監事
　　板垣博文　令和８年９月～